

## トランプ新米大統領がTPP離脱を宣言すると分かっているながら、 自公維新がTPP批准の採決を強行した理由

以下、

首藤信彦「TPPはどこへ向かうか？——メガ協定の挫折と今後の方向性」

<『世界』（2016年12月号／岩波書店）>

より

(文中の太字は引用者によります)

日本が批准を急がなければならない唯一の理由はおそらく、仮にもトランプ大統領が登場して TPP 協定が破棄されれば、2013年4月の**日米並行協議** (※) 以降、TPPの署名も発効も待たずに、次々と進めてきた TPP 関連の規制緩和措置や政策変更、そして今年夏の参議院選挙のために TPP 関連の名目でばらまいたさまざまな補助金や公共事業工事への予算措置(その多くが不可逆的な状況にあるはずだ)などが一斉に根拠を失う危険性であろう。**虚偽の名目で予算を執行したという謗を**しりを避けるには、少なくとも日本は**批准したという事実を作らない**といけないのかもしれない。

(※) 引用者：日米並行協議についてご参照 (右URLをクリック) ⇒<http://www.nikkan-gendai.com/articles/view/news/166322/6>